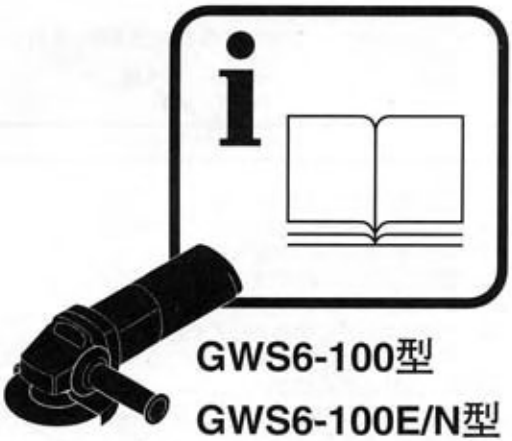
取扱説明書



GWS6-100型

GWS6-100E/N型

BOSCH

ボッシュ株式会社

電動工具事業部

〒224 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-1

お客様ご相談フリーダイヤル
0120-345-764

※本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
※製品のカタログ請求その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店、又は弊社までお問い合わせください。

1 609 929 **751** (02.01) Printed in PRC

EMA-GWS6

BOSCH

目　次

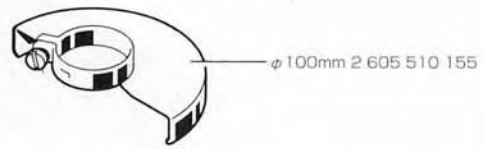
注意文の「⚠警告」、「⚠注意」の意味について——2
安全上のご注意、⚠警告——6
仕様——8
各部の名称——8
本機使用に際しての⚠警告、⚠注意——9
作業の前に——11
先端工具の取付け——11
各部の操作——13
ダイヤル式電子無段変速（GWS6-100E/N）——13
作業方法——14
ギアハウジングの角度調整——15
メンテナンス——15

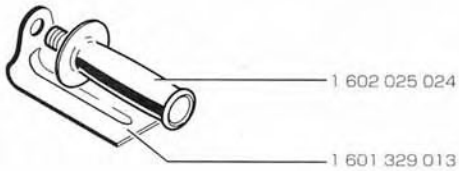
注意文の「⚠警告」、「⚠注意」の意味について

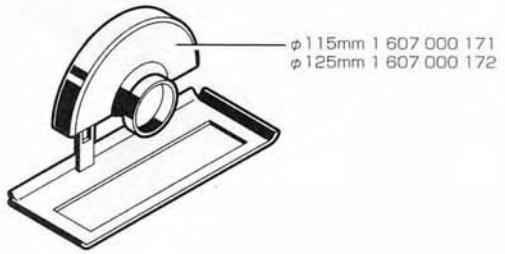
ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

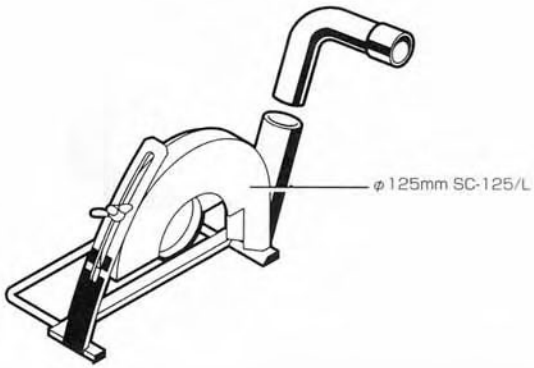
⚠警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

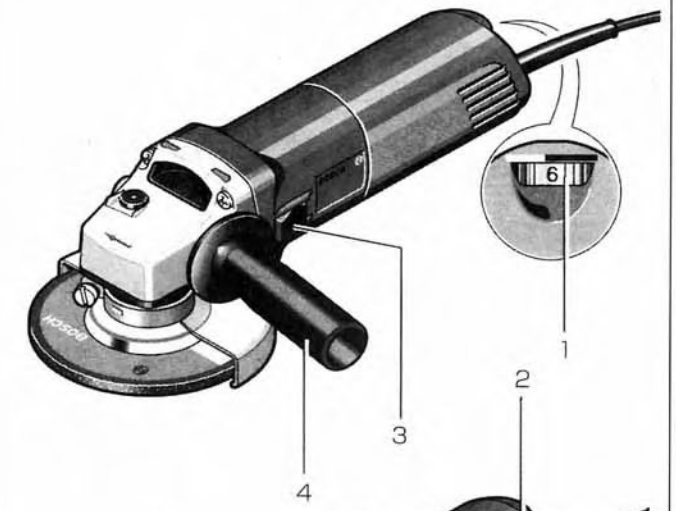
⚠注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。なお、⚠注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

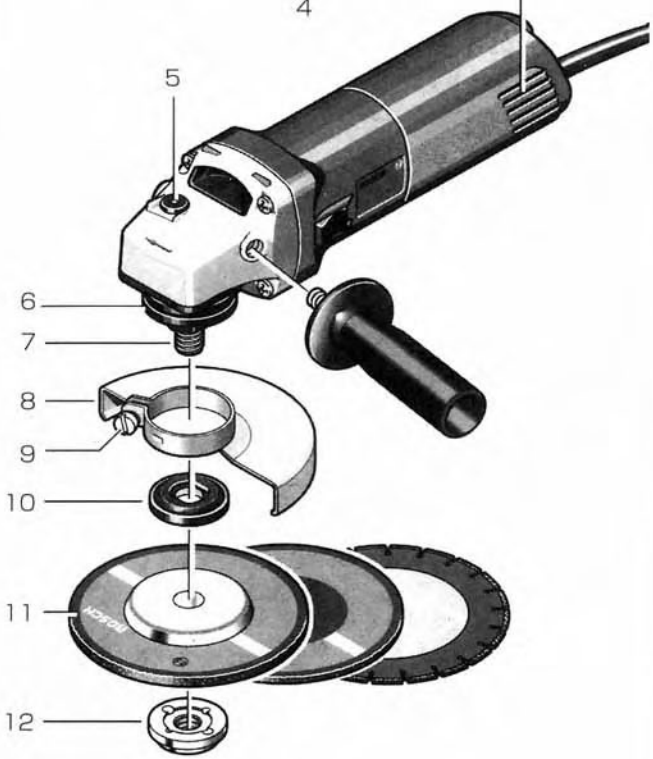


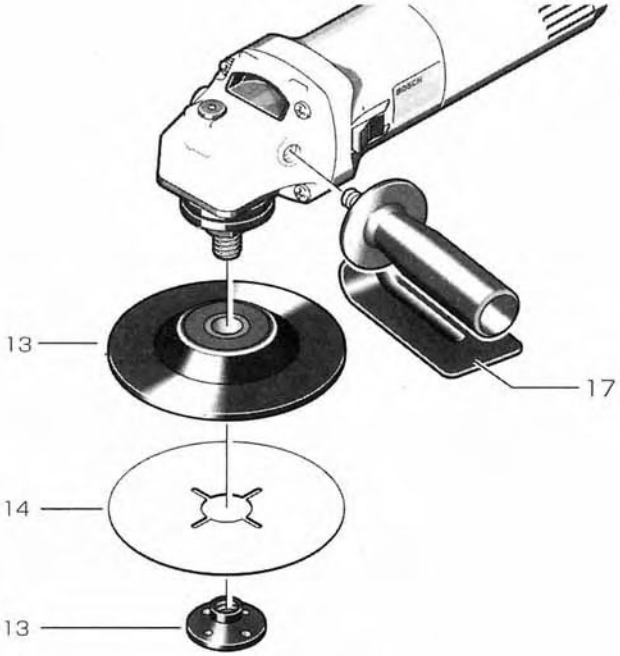


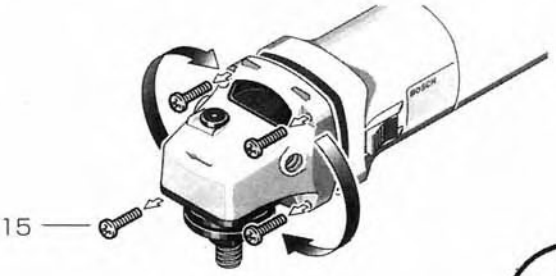


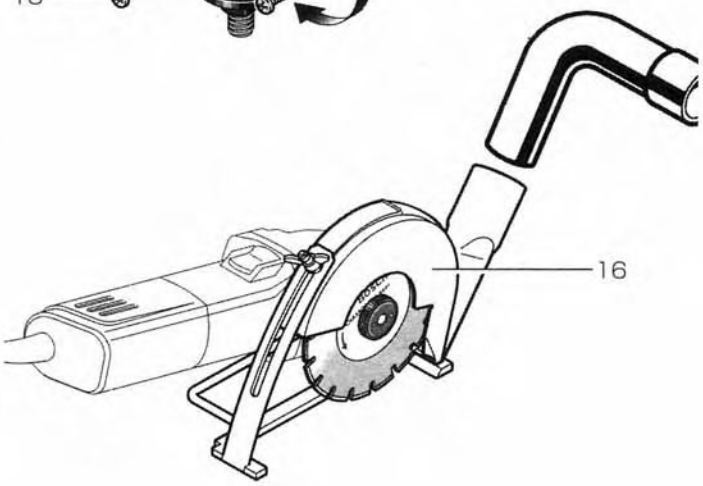



6
1
3
4
2


5
6
7
8
9
10
11
12


13
17
14
13


15


16

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
     （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
    - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
    - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
    - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
    - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
    - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または修理認定工場に修理を依頼してください。
    - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
    - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
    - 使用しない、または、修理する場合。
    - 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
    - その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
    - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
    - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
    - プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
    - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
    - 常識を働かせてください。
    - 疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
      取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または修理認定工場に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または修理認定工場で修理を行ってください。
    - スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
    - 本取扱説明書およびボッシュカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
    - 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
    - 修理は、必ずお買い求めの販売店または修理認定工場にお申し付けください。
    - 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

仕様

型番	GWS6-100	GWS6-100E/N
電源	AC 100V (50−60Hz)	
消費電力	670W	670W
回転数	11,000回転/分	2,800−11,000回転/分
使用砥石径	100mmφ	100mmφ
スピンドルネジ径	M 10	M 10
砥石取付穴径	15mmφ	15mmφ
最高使用周速度	4,300m/分	4,300m/分
電子無段変速	−	●
重量	1.4kg	1.4kg
二重絶縁	回	回

各部の名称

1. ダイヤル式電子無段変速スイッチ（GWS6-100E/N）
2. 通風口
3. スライド式スイッチ
4. サイドハンドル
5. スピンドルロックボタン
6. スピンドルカラー
7. スピンドル
8. 保護カバー
9. 保護カバー用ネジ
10. フランジ
11. 研削砥石（＊1）
12. 固定ナット
13. サンディングラバーパッド（固定ナット付）（＊2）
14. サンディングディスク（＊1）
15. ギアハウジング固定用タッピンネジ
16. 吸じんカバー（＊2）
17. ハンドプロテクター（＊2）

＊1 市販品
＊2 別売アクセサリー

⚠警告

使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

ホイールガードは、必ず取り付けて使用してください。
- といしやダイヤモンドホイールが破壊したとき、けがの原因になります。

使用するオフセットといしは、最高使用周速度4,300m/min以上の正規のといしを取り付け、正しい使用面で研削してください。側面や上面では研削しないでください。
- 正規以外のといしを使用したり、また側面や上面で研削すると、といしが破壊し、けがの原因になります。

といしにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- 異常があると、といしが破壊し、けがの原因になります。

使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
とくに始動時は気をつけてください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

水、研削液などは使用しないでください。
- 乾式用のため、といしの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
- といしやダイヤモンドホイールが破壊したとき、けがの原因になります。

使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
- けがの原因になります。

研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
- 火災ややけどの原因になります。

といしを用いて切断作業をする場合は、切断といしを使用してください。
- 切断といし以外のといしは、けがの原因になります。

切断といしを使用する場合は、切断といし専用のホイールガード、フランジを取り付けてください。
- 切断といしが破壊したとき、けがの原因になります。

回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- けがの原因になります。

使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、またはボッシュ修理認定工場に点検・修理を依頼してください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

誤って落としたり、ぶつけたときは、といしや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

延長コードを使用するときは、アース線を備えた3心コードを使用してください。
- アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。
〔二重絶縁品は除く〕

〔事業者の方へ〕　といしの取り替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
関連法令　労働安全衛生規則　第36条
労働安全特別教育規程　第1条、第2条

⚠注意

工具類（といしなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

新しいといしを取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、といしの露出部から一時身体を避けてください。
- といしが破壊したとき、けがの原因になります。

試運転を励行してください。
試運転時間は　といし交換のとき……3分間以上
その日の作業始めのとき…1分間以上　です。

- 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。

高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、コードを引っかけたりしないでください。
- 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

指定以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。
- 丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。

作業の前に

■電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて行なってください。

保護カバー
スピンドルカラー6の溝に保護カバー8の内側にある凸部をあわせ、作業の体勢にあう位置まで回転させてください。
保護カバー8の保護カバー用ネジ9を締めつけてください。
研削砥石は、保護カバー8の内側に接触することがないことを確認してください。
保護カバー8のカバー側は常に作業者の方に向くように装着してください。

サイドハンドル
作業の方向・内容に応じて本機のギアハウジング部の右側もしくは左側にサイドハンドル4を取りつけてください。

ハンドプロテクター（別売アクセサリー）
研削作業の際には保護カバー8と同様にハンドプロテクター17を装着するようにしてください。ハンドプロテクター17はサイドハンドル4に取りつけて装着してください。

先端工具の取付け

■電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて行なってください。
先端工具は本機の最高回転数（最高使用周速度4,300m／分）にあったものをご使用ください。
- スピンドルロックボタン5を押してスピンドル7を固定してください。
- スピンドルロックボタン5はスピンドル7が停止している状態でのみ押してください。

研削砥石
スピンドル7にフランジ10を取りつけ、その上から研削砥石を装着します。
フランジ10をスピンドル7に取りつける際は、フランジ10の凹部がスピンドル7の固定部にかみあうようにしてください。
固定ナット12を研削砥石の上から取りつけ、ピンスパナで締めつけてください。
砥石は保護カバー8の内側に接触しないことを確認してください。

ダイヤモンドホイール
フランジ10は砥石取りつけ時とは上下を逆にして使用してください。
スピンドル7に上下を逆にしたフランジ10、ダイヤモンドホイール、固定ナット12の順に取りつけてください。
上下を逆にしたフランジ10は、ダイヤモンドホイールの穴径（20mmφ）に適合するようになっています。

サンディングディスク
保護カバー8を取りはずし、ハンドプロテクター17をサイドハンドル4に取りつけてください。
スピンドル7にサンディングラバーパッド13を取りつけ、サンディングディスク14を装着してください。
固定ナット13（サンディングラバーパッドとセット）を取りつけ、ピンスパナで締めつけてください。

カップワイヤーブラシ・ベベルワイヤーブラシ
保護カバー8を取りはずし、ハンドプロテクター17をサイドハンドル4に取りつけてください。
スピンドル7にカップワイヤーブラシ・ベベルワイヤーブラシを直接取りつけてください。
スピンドルロックボタン5を押してスピンドル7を固定し、スパナでしっかりと締めつけてください。

各部の操作

■使用電源は、本機の銘板に表示してある電圧で使用してください。

メインスイッチの「ON」・「OFF」
メインスイッチのON ：左側サイドハンドル横のスライド式スイッチ3を前方にスライドしてください。
メインスイッチのOFF：スライド式スイッチ3の後方を指で押してください。
スライド式スイッチ3の表面上のマークが「0」の時はOFF、「I」の時はONを表しています。

試運転
研削砥石後、作業開始時には必ず試運転を行ない、砥石にヒビや割れがないことを確認してください。（労働安全衛生規則第118条）
試運転時間：砥石交換時　3分以上
その日の作業開始時　1分以上

ダイヤル式電子無段変速（GWS6-100E/N）

加工材・作業内容にあわせて適切な回転数を選択してください。

加工材（材料）	作業内容	先端工具	選択ダイヤル
プラスチック	ポリッシング	羊毛ボンネット	1
	仕上研削	ポリッシングフェルト	1
金属	仕上研削	ポリッシングフェルト	
	ペイント	研削砥石	2−3
木材・金属	ブラシ・さび落し	カップブラシ・研削砥石	3
金属・石材	研削	研削砥石	6
金属	荒研削	研削砥石	6
石材＊	切断＊	ダイヤモンドホイール	6

＊　切断作業の際は、吸じんカバー16もしくはスタンド付カバーをあわせてご使用ください。この表はあくまでも参考例ですので、作業の前にテストピースを使用して最適な回転数を選択することをお勧めします。

作業方法

■加工する物は、万力やクランプなどを利用して、しっかりと固定してください。作業中は、回転が停止するような強い力で過負荷を与えないでください。

研削作業

研削作業は砥石全面を被研削面に当てるのではなく、15°～30°の傾斜を保ちながら、前後左右に軽く押さえて移動すると効率の良い作業が行なえます。
研削能力を最大限に発揮するのは火花が一番多く出る状態が最適です。

石材への切断作業

■本機は乾式でのみご使用ください。

本機及びダイヤモンドホイールが傾くことのないように、吸じんカバー16もしくはスタンド付カバーをご使用ください。
また石材への切断作業には吸じんカバー16を使用して、粉じんを吸入するとともにマスクをご使用されることをお勧めします。
吸じんカバー16はカバーの前方から吸じんを行ないます。本機を材料に対して垂直に接地され、適切なスピードで前方に押して作業を行なってください。

ギアハウジングの角度調整

■電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて行なってください。

本機はどのような作業状況においても安全に使いやすく作業できるよう、ギアハウジングが90°ずつ4方向に角度を変えられます。
先端工具・保護カバー等をはずしてください。
ギアハウジングを固定しているギアハウジング固定用ネジ15を4本とも緩めてください。
ギアハウジングを希望の位置に回転してください。その際にはギアハウジングは本体から抜かないよう注意してください。
再び4本のギアハウジング固定用ネジ15を締めつけてください。

メンテナンス

■点検・手入れの際は必ず電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて行なってください。

常に本機及び通風口は清潔に保ってください。
本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、お買い求めの販売店、またはボッシュ修理認定工場に点検・修理を依頼してください。